

夢の図書館

The you-me-no library news

3月号



令和4年3月1日発行（第223号）

編纂 夢野台高校図書委員会

寒さがだんだん和らぎ始め、暖くなる日が増えてきました。本日、3月1日卒業式が行われ74回生がこの夢野台高校を旅立っていかれました。時が過ぎるのは本当に早いものです。驚くことに高校生活の1年生は3分の1が、2年生に至っては3分の2が終わろうとしています。皆さん高校生活は充実していますか？部活に励む人、勉強に励む人、多様な高校生活があると思います。そして、その高校生活に図書館を利用してもらえるのが嬉しいです。部活でスキルを上げたい人は図書館にある各競技の専門書を読んだり、本を読むだけではなく自習をしても全然OKです！友達と一緒にでも、もちろんお1人でも大歓迎です！

2月以降は、図書館に自習しに来る人がいなくなってしまって閑散としてしまい寂しいです。75回生の皆さん！もう受験生活が始まっています！74回生の先輩方にはお昼休みや放課後、図書館に自習しに来ている方々が多くいました。そんな先輩方を見習って図書館に来てみるのもいかがでしょうか？お待ちしております！



店長がバカすぎて

著 早見和真

谷原京子、28歳吉祥寺の書店の契約社員。超多忙なのに薄給。お客様からのクレームは日常茶飯事。店長は山本猛という名前ばかり勇ましい「非」敏腕。そして人をいらだたせる天才。ああ！店長がバカすぎる！毎日「マジで辞めてやる」と思いながら、しかし仕事を、本を小説を愛する京子は..。



私は私のままで生きることにした 著キム スヒョン 訳 吉川南

人と比べて、何になる？

誰かと比べるなんて、もうやめたらいいよ。

私たちはみんな、ヒーローになること、特別な何者かになることを夢見ていた。だけど、今では世界どころか、自分を救うことに必至な大人になってしまった。中途半端な年齢、中途半端な経歴、中途半端な実力をもつ中途半端な大人になった私たちは誰もが大人のふりをしながら生きている。

本書には今を生きる普通の人へのいたわりと応援を詰め込んだ。何が正解かわからない世の中で、誰のまねもせず、誰にも恨まれず、自分を愛する方法を伝えたい。

韓国の若者を中心に大反響の一冊。

ホームレス中学生 著 田村裕



※これはお笑いコンビ、麒麟の田村裕さんが体験された実話です。

『ご覧のように、まことに残念なことではございますが、家のほうには入れなくなりました。厳しいとは思いますが、これからは各々頑張ってください。

……………解散！』

“差し押さえ”のテープが張られた家のドアの前で、13歳の僕と兄と姉にそう言い残し、父はそそくさと去っていった。そこから、僕の公園でのホームレス生活が始まった。

笑いあり涙ありの少年の波瀾万丈な青春時代を、コミカルかつハートフルに描き話題を呼んだ一冊。映画にもなったこの本は、物語の面白さや田村裕さんの文のセンスも相まってさくさくと読み進められるので、とてもオススメです!!



ホームレス大学生 著 田村研一

上記で紹介した、麒麟田村裕さんの実のお兄さんが書く、『ホームレス中学生』時代の別の視点の物語。

私は、違う立場や年齢では、見えない所でこんな苦労や苦悩があるのだと、この本を読んでいて気付くことが出来ました。

是非、ホームレス中学生を読んでからこちらを読んでみてください！

この世界の片隅に 著 こうの史代



舞台は戦時中の広島。のんびりとした性格の主人公すずは、呉に嫁ぎ、ささやかな幸せを感じながら生活していた。ところが、時代と共にどんどん戦争は激化していき、すずのささやかな幸せが崩れていってしまう。すずはどのように生きていくのか、家族愛とはなんなのか。戦争の中で紡がれていく、希望の物語。

『この世界の片隅に』は、ドラマや映画にもなり、多くの反響を呼んだ作品です。夢野台高校の図書館には、漫画版も小説版もあります！漫画では優しく可愛い絵柄の中にも、凄惨な戦争の姿やめげずに力強く生きていくすず達の姿が見られ、物語に入り込めますし、小説は情景を想像しながら、登場人物の台詞をしっかりと噛み締めて読むことができます。まだ読んだことのない方は、漫画でも小説でも、是非！一度！読んでみてください！！

アウシュヴィッツの図書館 著 アンтониオ・G・イトウルベ

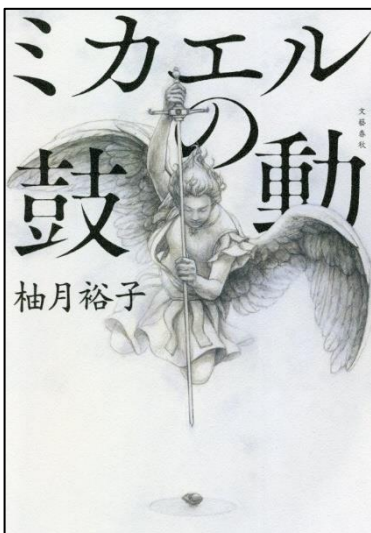


1944年、アウシュヴィッツ強制収容所内には、国際監視団の視察をごまかすためにつくられた学校が存在した。そこには8冊だけの秘密の“図書館”がある。

図書館に任命されたのは、14歳のチェコ人の少女ディタ。その仕事は、本の所持を禁じられているなか、ナチスに見つからないよう日々隠し持つという危険なものだが、ディタは嬉しかった。

彼女にとって、本は「バケーションに出かけるもの」だから。ナチスの脅威、飢え、絶望にさらされながらも、ディタは屈しない。本を愛する少女の生きる強さ、彼女をめぐるユダヤ人の人々の生き様を、モデルとなった実在の人物へのインタビューと取材から描いた、実話に基づく、感動の物語。

ミカエルの鼓動 著 柚月 裕子



大学病院で、手術支援ロボット「ミカエル」を推進する心臓外科医・西條。そこへ、ドイツ帰りの天才医師・真木が現れ、西條の目の前で「ミカエル」を用いない手術を、とてつもない速さで完遂する。あるとき、難病の少年の治療方針をめぐる、二人は対立してしまう。

「ミカエル」を用いた最先端医療か、従来の術式による開胸手術か・・・そんな中、西條を慕っていた若手医師が、自らの命を絶った。大学病院の闇を暴こうとする記者は、「ミカエルは人を救う天使じゃない。偽物だ」と西條に迫るが。

天才心臓外科医の正義と葛藤を描き、医療の在り方、命の意味を問う感動巨編。



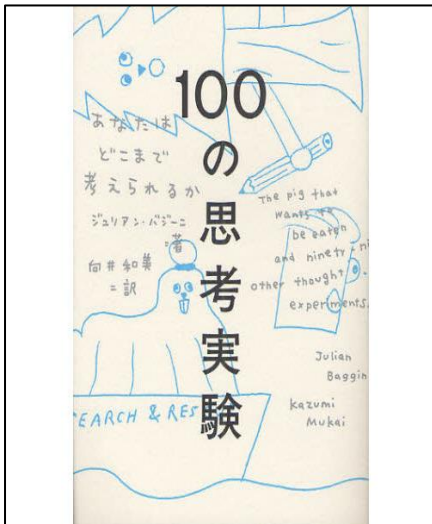
琥珀の夏 著 辻村深月

大人になる途中で、私たちが取りこぼし、忘れてしまったものは、どうなるんだろう。封じられた時間のなかに取り残されたあの子は、どこへ行ってしまったんだろう。

かつてカルトと批判された〈ミライの学校〉の敷地から発見された子どもの白骨死体。弁護士の法子は、遺体が自分の知る少女のものではないかと胸騒ぎをおぼえる。小学生の頃に参加した〈ミライの学校〉の夏合宿。そこには自主性を育てるために親と離れて共同生活を送る子どもたちがいて、学校が苦手な法子も、合宿では「ずっと友達」と言ってくれる少女に出会えたのだった。もし、あの子が死んでいたのだとしたら。

30年前の記憶の扉が開き、幼い日の友情と罪があふれだす。

圧巻の最終章に涙が込み上げる、辻村深月の新たなる代表作。



100の思考実験 著 ジュリアン・バギーニ 訳 向井和美

思考実験とは科学、物理学、倫理、論理、哲学、宗教、などの様々なテーマから頭の中で”考える”のみの実験である。例えば路面を走るトロッコが暴走したとして、このまま進めば5人の作業員が轢かれてしまう。貴方の近くにはちょうど分岐点のレバーがある。貴方が進路を切り替えれば5人の命は確実に助かる。しかし、別路線にはもう1人作業員がおり、5人の代わりに確実に亡くなってしまいます。貴方は、レバーを切り替えるべきか？

あなたの考えはどちらだろうか。

★2022年2月新着図書を紹介（寄贈も含む）★

書名	著者名	出版者
ブラックボックス	砂川 文次	講談社
オン・ザ・プラネット	島口 大樹	講談社
School girl	九段 理江	文藝春秋
アトム時代	美術出版社	美術出版社
我が友、スミス = SMITH, MY F	石田, 夏穂	集英社
Newton 究極の無		ニュートンプレス マーケティング